

川 沿 の 家

改 築 物 語

豊田設計事務所
豊田善幸

川沿の家改築物語

目次

2006・09・19 (火)	今時の打合せ	1
	家族	3
2006・10・29 (日)	契約♪	6
	実施設計開始	6
2006・11・09 (木)	断熱計算しました♪	7
2006・12・14 (木)	断熱計算しました♪	10
2007・02・05 (月)	模型作成	13
2007・02・21 (水)	トリアエズ	17
2007・03・14 (水)	材木屋さんとの共同作戦！	19
2007・04・12 (木)	確認申請	22
2007・05・31 (木)	土地の問題	23
2007・07・02 (月)	地鎮祭の予定決定！	25
2007・07・03 (火)	骨だけ～	26
2007・07・05 (木)	お疲れ様でした。	28
2007・07・11 (水)	プレカット打ち合わせ	30
2007・07・18 (水)	家づくりの勉強会（プロ向け）	35
2007・07・19 (木)	ハシゴ	38
2007・07・25 (水)	地縄	40
2007・07・28 (土)	発掘！あるある	42
2007・07・31 (火)	短期集中豪雨	44
2007・08・01 (水)	工程表作成？	46
2007・08・02 (木)	解体完了	48
2007・08・06 (月)	チェックミス！	50
2007・08・07 (火)	今度はタ立♪	53
	プレカットの次	56
2007・08・16 (木)	基礎工事終わらなかつたっす・・・	58

2007・08・18 (土)	コンクリート打設	62
2007・08・20 (月)	型枠工事	64
2007・08・21 (火)	セルフレベリング	66
2007・08・26 (日)	土間配筋	68
2007・08・29 (水)	埋戻し	70
2007・09・01 (土)	外部の設備配管	74
2007・09・03 (月)	外壁の色	77
2007・09・08 (土)	足場完了	80
2007・09・10 (月)	建て方開始	83
2007・09・11 (火)	建て方開始！	86
2007・09・13 (木)	いた～～！	89
2007・09・15 (土)	垂れ幕	92
2007・09・20 (木)	屋根下地	94
2007・09・21 (金)	屋根通気工法	97
2007・09・25 (火)	屋根通気部材	99
2007・09・26 (水)	構造用合板	101
2007・09・30 (日)	基礎断熱	105
2007・10・02 (火)	床材確認	107
2007・10・04 (木)	床下暖房設置！	109
2007・10・05 (金)	上棟式	113
2007・10・10 (水)	断熱アルミサッシ！	117
2007・10・16 (火)	外壁通気工法	120
2007・10・17 (水)	ダイライト	123
2007・10・20 (土)	断熱工事部隊登場	126
2007・10・21 (日)	断熱工事ほぼ完了	129
2007・10・30 (火)	土間との段差を考える	132
2007・11・02 (金)	かくれちゃった！	135

2007・11・08 (木)	素人塗装団	138
2007・11・09 (金)	ていねい過ぎる？	140
2007・11・10 (土)	さらば踏み天井！	142
2007・11・12 (月)	名前が変わりました（事後承諾？）	144
2007・11・14 (水)	素人塗装団任務完了	147
2007・11・20 (火)	外部塗装工事	150
2007・11・21 (水)	だらだらとひとつながりの家	154
2007・11・24 (土)	どこでも仕事ができます♪	157
2007・12・01 (土)	内装色の検討中	162
2007・12・06 (木)	ようやく足場が取れました（汗）	164
	2階手摺	165
2007・12・09 (日)	呼び出し！	167
2007・12・11 (火)	内部足場再び！	169
2007・12・14 (金)	こちらも急ピッチです。	172
2007・12・22 (土)	素人塗装大会準備中	176
2007・12・23 (日)	素人塗装工事♪	178
2008・01・08 (火)	写真部？	180
2008・02・12 (火)	ガレージのある家	184
2008・02・16 (土)	扉	186
2008・02・26 (火)	温度測定	188
2008・12・15 (月)	測定開始	191
2009・01・14 (水)	データ回収してきました。	195

2006・09・19（火）

今時の打合せ

ブログで知り合った地元『いわき』の仲間が、
オフ会で『家を建てたい』などと口走ったために、
同じく地元のブログ仲間の『材木屋さん』と口説き落とし、
設計のチャンスをいただきました。

幾つかの計画案をつくりましたが、
直接会ったのは、敷地の確認のために尋ねた2回だけ！
あとは、全てメールでやり取りをしています。
どちらも市内にいるのに、電話すらしていません。（←いいの
か？）

そんな今風の打合せスタイルですが、
基本計画も完了し、いよいよ本格的な設計が始まります。
只今、概算工事費算出中です。
はたして、予算内で家は建つのでしょうか？

建て主さんは、新生銀行と融資の相談中らしいのですが、
私は『新生銀行？』がわかりません・・・
そこで、知り合いの『フィナンシャルプランナーさん』に相談
したところ、
こんな返事が返ってきました。

おお！ネット銀行ですね。

銀行ローンですがここの長期固定ローン『パワースマート』はフラット35に似ています。

借入れ期間が短かいほどフラット35よりお得です。

この方は住宅ローンについてはお詳しい方なのではと推測します。

こちらから確認するとすれば長期固定ローンであるかそれだけでいいと思います。変動ローンもありますから。

保障料無料、団信生命保険料込み、繰上返済手数料無料です借入れ年数により金利が違ってきます。

20年2.95%、25年で3.0%、30年で3.15%、35年で3.25%です。

借入れ期間が短かいほどフラット35よりお得です。

新生銀行HP

http://www.shinseibank.com/powerflex/housing/q_smart.html

なるほど、ネット銀行だったのか・・・不勉強で面目ないです。

つづく

住まいブログ

家族

標準的な家族像という誰もが持つイメージですが、『幻想』のように思えてなりません。

『父・母・子ども二人』という家族に向けた3LDKの家がぴったりフィットする世帯は現在どの程度あるのでしょうか。

もしかすると、既にこの家族像は全体に対して少数派になっているのかもしれない。

(どう？自分の周りを眺めてみてください)

詳しくは書きませんが、

今回のお客様の家族構成は少し変わっていて、5年後すら予想できません。

ある程度の変化に対応できるように、様々な将来像を想定して計画するのですが、

部屋の数でそれに対応しようとすると、まさに『個室群住宅♪』

予算で建物の規模を絞るほど、小さな部屋が連続する『miffy house』（←ウサギ小屋〜！）になってしまいます。

そこで、微妙なプライバシーの強弱と、家族の成長に対応できるように『ゆるい仕切り』と『硬い仕切り』を提案していこうと考えています。

簡単に書くと、

この家は家族を構成するいくつかの世帯を、
家の中心に向けて配置する共同住宅なのですが、
それぞれの世帯は
だらだらとひとつつながりの『ゆるい仕切り』で区切られるイ
メージです。

区切るもあまり適切な表現でないかもしれません。
『ゆるい仕切りでつながる？』

家族の変化に合わせて必要なコーナーが生まれては消え、
建物全体を広く使いつづけることができる家が目標です。
(建物を完成させないことも重要！)

そうそう、ここは断熱オタクのブログだった！
吹き抜けとかがある『だらだらとひとつつながりの部屋』を
暖房するのは難しそうですね？
これは断熱の技術で、簡単に解決できるんですよ！
(その辺りも書いていく予定ですので、見逃すなよ！)

▶ 住まいブログ

追記：

例えば『5つ子ちゃん誕生』は想定範囲外ですが、
ビルトインガレージを部屋にすれば対応可能です。
(そう考えると何でも解決～♪)

んまあ～

まずは『ゆるい仕切り』のイメージを用意したいと思います。
話はそれから！

2006・10・29（日）

契約♪

ようやく基本設計がまとまり、

本日建て主さんと

【内郷の家】（←私が設計した家）を見に行ってきました。

その後、

設計契約書を取り交わし、正式に実施設計がスタートです。

『いわきならではの家づくり』に挑戦しますので乞うご期待♪

イガシ イガシ

実施設計開始

ようやく基本設計がまとまり、

本日建て主さんと【内郷の家】（今年3月竣工）を見に行ってきました。

その後、

設計契約書を取り交わし、正式に実施設計がスタートです。

『いわきならではの家づくり』に挑戦しますので乞うご期待♪

イガシ イガシ

2006・11・09（木）

断熱計算しました♪

現在実施設計中の『翼のある家』ですが断熱計算をしました。
ビルトインガレージがあったり、土間があったり、
凸凹していますので面倒でしたが、とりあえず無事終了（誰か
ほめて！）

凸凹した建物は外壁や屋根の面積が多いので、断熱性能は悪く
なります。

また、凸凹部分は現場でも施工精度が悪くなるので
実際の性能は計算値より落ちる傾向があります。
しかも、面積がでかい建物ですので困りました。

いつもの断熱仕様では灯油消費量が、730%になってしまう
んです。

もちろん『次世代省エネルギー基準』という日本で一番厳しい
基準値を
余裕でクリアしているのにもかかわらずこんな値です。

これでは『いわきのいい家』なんて恥ずかしくていえませんの
で、
さらなる性能向上を検討しました。

① 太陽の熱が得られにくい東面・西面・北面の窓を樹脂サッ
シにする。

（いわきの場合、南面はアルミサッシのままの方が省エネなん

です)

② 大きな窓には夜間閉じる断熱ブラインドを設置する。

(オーダーのカーテンと同じ値段で設置可能ですので、
工事費は増加しないこととします)

③ 付加断熱

(これは初挑戦です。いわきでここまで断熱する家はまず無い
でしょう)

④ 基礎の内側にも断熱を設ける

(年間20%程度の減ですので、費用対効果から判断してたぶ
んやらない)

⑤ 熱交換型換気扇の設置

(これは工事費が大幅に増加するので、たぶんボツになります)

とまあ、ここまでやると、

暖房の年間灯油消費量が200%を下回ります。

ちなみに、換気扇を従来そのままだと、400%です。

200%で暖房できると、530%省エネになります。

つまり、530% × 単価80円 ⇒ 年間4万円以上 お得♪

ですが、

仮に100万円増額だとすると、回収に23年かかる・・・

ねえ、どうしよう？

ああ～

灯油代がさらに高騰すると回収が早まるんだけどなあ～（←オイ！）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

2006・12・14（木）

断熱計算しました♪

現在実施設計中の『翼のある家』ですが断熱計算をしました。
ビルトインガレージがあったり、土間があったり、
凸凹していますので面倒でしたが、
とりあえず無事終了（誰かほめて！）

凸凹した建物は外壁や屋根の面積が多いので、断熱性能は悪くなります。

また、凸凹部分は現場でも施工精度が悪くなるので
実際の性能は計算値より落ちる傾向があります。
しかも、面積がでかい建物ですので困りました。

いつもの断熱仕様では灯油消費量が、730%になってしまうんです。

もちろん『次世代省エネルギー基準』という日本で一番厳しい基準値を
余裕でクリアしているのにもかかわらずこんな値です。

これでは『いわきのいい家』なんて恥ずかしくていえませんので、
さらなる性能向上を検討しました。

- ① 太陽の熱が得られにくい東面・西面・北面の窓を樹脂サッシにする。
（いわきの場合、南面はアルミサッシのままの方が省エネなん

です)

② 大きな窓には夜間閉じる断熱ブラインドを設置する。
(オーダーのカーテンと同じ値段で設置可能ですので、
工事費は増加しないこととします)

③ 付加断熱
(これは初挑戦です。
いわきでここまで断熱する家はほとんど無いでしょう)

④ 基礎の内側にも断熱を設ける
(年間20%程度の減ですので、費用対効果から判断してたぶんやらない)

⑤ 熱交換型換気扇の設置
(これは工事費が大幅に増加するので、たぶんボツになります)

とまあ、ここまでやると、暖房の年間灯油消費量が200%を下回ります。

ちなみに、換気扇を従来そのままだと、400%です。

200%で暖房できると、530%省エネになります。
つまり、530% × 単価80円 ⇒ 年間4万円以上 お得♪

ですが、
仮に100万円増額だとすると、回収に23年かかる・・・
ねえ、どうしよう？

川沿の家改築物語

ああ～

灯油代がさらに高騰すると回収が早まるんだけどなあ～（←オイ！）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

2007・02・05（月）

模型作成

去年から続いている設計作業が『形』になってきました。
もちろん紙の上での話ですので、
実際に建物が出来上がるのは秋ごろの予定です。

週末に模型をつくりました。









変形敷地に立つ細長い家です。

道路に面する北側をキレイに見せる方法で悩んでいます。

うっかりすると

「灯油タンク」「ボイラー」「エアコン室外機」などが無造作に置かれ、

「エアコン配管」「雨樋」「吸気口」「換気扇」が遠慮なく壁に取り付きます。

さて、どうしたものか・・・

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

2007・02・21（水）

トリアエズ

図面完成していないのに、
地元工務店さんに図面を渡し、見積もりを依頼しました。

慌てて不足している、
『照明器具リスト』
『級排水設備リスト』
『暖房設備図』などを、
つくっています。

2階の床が1階の天井になるような設計しちゃったので、
電気の配線で困っています。

以前、梁の上に『ゲタ』を咬ませて、
配線していただいたことがありますが、
電気工事屋さんに睨まれて、
『今つくってる公共物件より難しいぞ！』
なんてことを、現場で直接言われました。

せっかく厚い杉板を床に使うなら、
裏面も見せたいじゃないですか！
さあ～て、
今度は【ノップ碍子】で配線を露出させて
さらに敵を増やそうかと企んでみたり・・・（←懲りてない）

川沿の家改築物語

ノップ碍子（がいし）はここを参照！

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

2007・03・14（水）

材木屋さんとの共同作戦！

『川沿いの家』の建て主さんとは地元のブログ友達でして、まさかお客様になるとは思っていませんでした。無礼の数々をものともせず設計依頼してくるとは、図太い方です。

設計期間中の更新がほとんどされていませんでしたが、まじめに設計の仕事をやっておりました。

しかし、

あまりの更新の少なさに痺れを切らした正木屋の姉さんが、自分のブログで進捗状況を書き始めてしまい慌てています。

そもそもの始まりは、

お客様と私と正木屋さんなどで呑んで騒いでいるときに、突然『家づくり』の話になったのです。

その場の雰囲気から、

『いわきにふさわしい家をつくろうじゃないのお～♪』

などと、酒の席ですので大風呂敷を広げてしまい、

今に至ります。（赤面）

そんなこんなで

今回の家づくりは正木屋さんとの共同作戦となっております。

これが結構面白いんです。

通常ひきこもり気味で図面を描くのですが、

建材フェアに連れて行かれ、

取引のある工務店の建物を見せられ、
私の知らない塗料・左官材料などを教えていただき、
「地元の木」以外にたくさんのことを勉強させていただきま
した。

おかげで設計者の思い入れが強くなりすぎない、
素朴な設計にまとまったと思っています。

いわきをかなり意識した家ができそうです。



正木屋さんの協力には感謝しています。

さあ！もうすぐ工事が始まりますよ！

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

会議中に「ガンダムDVD」の電話は困ります。専務！！

2007・04・12（木）

確認申請

「川沿いの家」の確認申請が無事におりました。
事務所の新人さんが手伝ってくれましたので、
私はかなり楽をさせていただきました。

建築住宅センターでの細かな手直しが終わりかけたとき、
県条例で角地の隅切りを指摘された時はかなり慌てましたが、
建物を少し動かしてなんとかなりました（大汗）

新人さんは、窓口の対応でかなり虐められたようですが、
気にしてはいけませんよ！
法律を満足させるための書き込みは、
お客様を満足されるための努力の1項目でしかありません。
いい確認申請が、必ずいい建物になるとは限りらないのです。

偉そうに書いていますが、
窓口の担当者を喜ばせるために
仕事をしているわけではないことに気がついたのは
この仕事を始めて数年後のことでした（笑）

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

2007・05・31（木）

土地の問題

「川沿いの家」がようやく始まります。

何も問題ない建主さんなのに、なかなか融資が決まりませんでした。

理由は、敷地面積の食い違いです。

謄本の面積と、実測の面積があまりにも違いすぎるために保障会社から待たがかかってしまったのです。

散々調べたら、

昭和30年代に国土調査した際に、

法務局の台帳に敷地面積を写し間違っていました。

明日、国土調査の古い資料を閲覧させていただき、

謄本と食い違っていることを申し立ててきます。

これでようやく融資が決まり着工することができます。

長かったです。

謄本は、当時「坪」で表記されていました。

謄本と台帳の差を計算したら、ピッタリ10坪の差です。

50年前の名も知らぬ方のミスに振り回されてしまいました。

いろいろ勉強になりました。

なにより、行政の書類保存能力には恐れ入ります。

公共建築を設計するときの詳細なバックデータも

将来きっと役に立つときが来るのでしょう。

川沿の家改築物語

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

今日は愚痴っぽいです。

2007・07・02（月）

地鎮祭の予定決定！

長かったです。

いや、

まだ解決していない問題も若干ありますが、
とりあえず本格的に始まります。

2007・07・03（火）

骨だけ～

呼ばれていないのに現場に行ってきました♪
現場好きです。

解体中の建物は鉄骨造の家です。
勾配がほとんどないコンクリートの屋根が乗っていましたが、
雨漏りがひどく解体することになりましたが、
基礎はしっかりしています。



見た限りどこにも「ひび」などは見当たりません！
まだ使えるものを壊している自分に少々減入っています。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

私は「鉄骨の家」を初めて解体します。
かなりボロボロだろうと思っていたのですが、
構造体はまだまだ現役でした。
今ある鉄骨の柱と梁を活用した改修計画はできなかったのか？
木造の家を解体するときには味わったことのない感覚です。

詳細な事前調査などが必要ですし、
解体するまで再利用可能かの判断がしにくいですので
現実的な選択肢ではないのかもしれませんが、ちょっと気分が
悪い！

2007・07・05（木）

お疲れ様でした。

事務所の新人さんを連れて「川治いの家」へ行きました。

急ぎの用はないのですが、

「図面の製本」や「見積もりの打ち合わせ」などで出かけたつ

いでに

ちょっと足を伸ばしました。





あらら、ペシャンコになっています。

30年以上家族の成長を見守ってきた家が役目を終えました。
お疲れ様です。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

解体中にトラブルがありました。申し訳ないです。

詳しくは建て主さんのブログで読んでください。ゴメンナサイ

2007・07・11（水）

プレカット打ち合わせ

近所の材木屋さんに行きました。

川沿いの家の打ち合わせです。

上に建つ材木の打ち合わせを

基礎のコンクリートの詳細が決まらないうちに進めるのは

木材の加工に手間がかかるからです。





たくさんある材木の中から今回使う化粧の柱を見せていただきました。



専務がフォークリフトで下ろしてくださっているところです。
予算が厳しい現場なのですが、
できるだけきれいな材料を集めていてくれました。



まったく問題ありません。

予算がないにもかかわらず柱が見える設計をしてしまい
ご面倒おかけいたしました。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

売るほどある材木の中から

怪しい視線を感じ恐る恐る近づくと



薬剤を加圧注入した「跡」と「節」が
いい感じで「顔」を作っていました。

2007・07・18（水）

家づくりの勉強会（プロ向け）

先日予告しました勉強会をしてきました。

前日ほぼ徹夜で資料をまとめ、

超眠い状態で150分間喋りまくりです。

私は「ギリギリまで準備をしない病」ですので、
毎回妙なテンションで話をするようになります。

詳しくは、

シロートなのに参加している「川沿いの家」のお客様

今回の勉強会を準備して下さった材木屋の専務（←ガンブラ
ブログ？）

「いわき家ナビ」の管理人で材木屋の専務婦人（夫婦でブログ
書いてる！）

のブログをどうぞ！（←いつも姑息な手段で内容を省略する）

「断熱性能を確保した家」を初めてつくる工務店さんが相手
です。

私が計画に携わった3つの家がほぼ同時に着工となりますの
で、

実際に家づくりに係わる職人さんを集めていただき

着工前の合同勉強会となりました（面倒な仕事を一度で済ます
作戦）

30人近くの方が真剣に聞いてくださりかなりの手ごたえです
！

そして大発見！

これまで断熱の勉強会を何度もしてきましたが、
興味本位で聴きに來る方が相手の場合、
どこか上の空で聞いている感覚がバシバシ伝わってきて
一方的に話す虚しさを感じることも何度もありました。

でも、今回は違いましたよ！！

とにかく聴く姿勢が違います。

全員が真剣にメモなんか取りながら聴いているのです。

やはり、目の前に具体的な仕事があるとそりゃちゃんと聴きま
すよね♪

話している私も気持ちよかったです。

そして、聴いている人をもっと喜ばそうと

キワドイ話も遠慮なくしてしまいました（オフレコですよ！）

自分で言うのもなんですが、いい勉強会ができました！

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

通常の勉強会は、

相手が眠くならないように下手な冗談を散りばめたりするの
ですが、

今回は冗談をまったくせず話し切ることができました（←スゴイ
カ？）

それから、勉強会の後、

参加した3社の担当者からさらに突っ込んだ相談がありま

した。

このレスポンスの良さに感動です。いい家ができそうです。

「ウマニンジン戦法」と名付けます（←オイオイ！）

2007・07・19（木）

ハシゴ

「川沿いの家」は地鎮祭を行いました。

前日あった勉強会の打ち上げでハッスルしてしまい
思っきり朝寝坊です。

慌てて出発した直後にお客様から

「神主さんが来ました〜〜っ！」との電話！

せめて、

「どれくらいで着きますか？」と尋ねていただければ言い訳で
きるのに、

それすら許されない恐怖電話です。（・・・ダメ人間デス・・・）

んまあ～

約束の時間に2分遅刻で到着すると、

それまで降っていた雨が突然降りやみ、絶好の地鎮祭日和とな
りました♪

もちろん想定内のことで遅刻作戦大成功です♪（ゴメン、ウデス）



↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

この後私はもう一つの現場の地鎮祭に出席するため
一番最初に現場を立ち去るのでした。

ここで一句「後に来て最初に帰る設計屋 断熱オタクが大物気
取り」

非常に印象が悪いです・・・ト林・・・

日曜日に「土間のある家」の地鎮祭がありますが、
今度は絶対に遅刻しません！
だけど土曜日飲み会なんだよなあ～～～（←フセブス）

2007・07・25（水）

地縄

「川沿いの家」は土地境界の問題が解決し、
ようやく本格的にスタートです。

(私の事前調査が不足していたため、全てゴテゴテの対応です)

建物の建つ位置の最終確認です。

今回は敷地に目一杯立ちますので、位置決めも慎重になります。



↑この位置でいいでしょう♪

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

2007・07・28（土）

発掘！あるある

「川沿いの家」は建て替えですので

最初に既存の建物を解体しました。

壊した建物は鉄骨造でしたので基礎がしっかりしていて

杭もありました。

それなら、

新しい建物はその杭に乗せてしまおうということになりました。

した。

解体後、整地しましたので

現在現場は発掘現場の様です。



↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

現場は予期せぬことが起きます。

杭の位置が図面とずれています・・・（杭は設計どおりに打てない！）

さて、基礎の形状を少し変更する方法を検討するとしましょう

♪

2007・07・31（火）

短期集中豪雨

「川沿いの家」の監督から電話がありました。

再利用する杭の深さが最初に確認したところと違うとのこと、
早速、現場に行ってきました。

「土間のある家」の現場では雨なんて降っていなかったのに
こちらは集中豪雨です。



現場では話になりませんので、
必要な寸法だけ測り、私の事務所で打ち合わせすることとなりました。

そして、
事務所に戻ると雨は止むのです・・・日頃の行いの差が出ます
♪

想定より高い部分は杭を傷めないように
コンクリートを壊して高さをそろえることとなりましたが、
また解体屋さんの手配です。
3歩進んで2歩下る勢いで現場が進んでいます。

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

監督さんがなかなか事務所に来ないと思ったら
ミニストップのプリンパフェを持ってきてくれました。
旨かった！
私は、アップルマンゴーパフェの方が好きです♪よろしく♪
(←おい！)

2007・08・01（水）

工程表作成？

「川治の家」の工事屋さんから工程表が届きました。

1枚の工程表を、

9分割で印刷したものを、

ファクシミリで送ってきました・・・

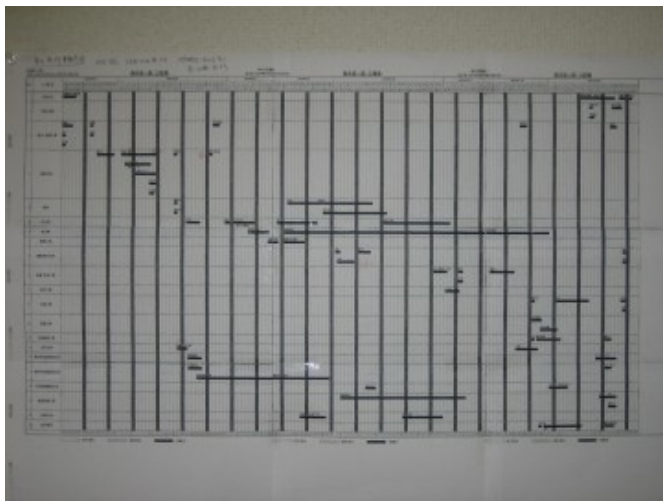
見にくいですが・・・

でも、お客様にはそのまま、

スキャナで読み込み、

PDFファイルにまとめてメールしました・・・（ご迷惑）

かなり回りくどいやり取りです。



私は、9枚の工程表を切り貼りして

大きな読みやすい工程表に仕上げました♪

事務所の壁に貼ってあります。

屋根ができるまで現場の進み具合は天気しだいですので、
これから1ヶ月間はドキドキして天気予報を見ることになりそうです。

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

せめてA3サイズでファクシミリを送って欲しかったです。
疲れましたが、ブログのネタができてちょっと嬉しかったり♪

2007・08・02（木）

解体完了

「川沿いの家」の基礎工事がなかなか進みません！

ようやく古い基礎を解体したら、今度は杭の芯ズレです（涙）

古い建物とほぼ同じ大きさを計画していたのですが、

何本かの杭が嫌なほうに芯ズレしていて、

構造の補強が必要になってしまいました・・・（想定外）



対応策を現場で確認し、監督に「図面をつくる」と安請け合い

♪



現場には型枠が運び込まれています。

ようやく軌道に乗りそうです。台風来るなよ～～～！

そして、次の現場へ！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

基礎の二段階解体は監督の判断ミスということで話が付き、
追加工事になりませんでした！

いろいろ無理言ってますみません。

2007・08・06（月）

チェックミス！

プレカットやさんと散々打ち合わせしたのに・・・
土間から外に出る窓の取り付け高さのミスに気づいてませんでした。

基礎の図面を眺めていて
嫌な汗が脇の下を伝えます・・・

恐る恐る監督に電話すると、
もう加工が終わっていますとの返事・・・

床の高さを変えるときは注意が必要です（猛省）

↓面白かったらポチ↓

 住まいブログ

追記：

既存の杭を今回の基礎と一体化させるためのベースを作っています。



コンクリートを打ちますので、
配筋の状況を休日に見に行きました。
ちょうどお客様が現場に来ていて、
年内に引越しすることができるのか物凄く心配していました
(汗)

地面の中を古い図面を頼りに手探りで作業していますので、
正直かなり遅れています。
でも、ここまで進めば新築の建物と同じですので、

ようやく工程がつかめるところまで進みました。ホッとします。

ホントですって！

2007・08・07（火）

今度は夕立♪

「川沿いの家」は既存の杭の位置を確認して、
ようやく軌道に乗ってきました。



一般の家づくりは
地面を掘ったら「碎石」から始まりますので、
ようやくスタートしたようなものです。

お昼休みに現場を見に来たのですが、
その後、現場近くの工事屋さんに呼びつけられ
夕方現場に再び登場！
(現場の皆さんは絶対暇な奴だと思っている！)



町全体が夕立で濡れています。
夏の夕方の雨は、昼から夜へとシーンが変わる合図のように
まったく違う空気を作り出します。
さすがに現場には誰もいませんでしたが、
ていねいにシートが掛けられています。



シートをめくると、
捨てコンが打ってありました〜〜♪
なんだか、1日でかなり進みました！！

↓面白かったらポチっ↓

[住まいブログ](#)

追記：

夏の夕方の雨はあっという間に上がります。

空気が妙に澄んでいて、ついつい現場で深呼吸。

昔、

学校帰りに自転車でピシヨリになったときと同じ匂いがしました。

プレカットの次

「川治の家」の加工をしている材木屋さんから電話です。

「梁の寸法がよく分からない」とのこと、
事前にプレカット屋さんと打ち合わせしていますので
そんなに問題は無いと思うのですが、
とりあえず加工場にお邪魔します。

今回は柱や梁が露出する設計になっていますので
その部分には材木屋さんが構造金物を手加工で取り付けていき
ます。

この方がまさに職人さんで、
図面をていねいに読み込み、
食い違いを見つけてリカバリーの方法を検討し私に尋ねてき
ます。

プレカット屋さんの前に図面を見ていただければ
今回指摘されるようなミスは無かったですでしょう・・・（言い訳
禁止！）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

材木屋さんにはチクチクとお小言を言われましたが
ていねいな加工をしていただいております。

影でこっそり助けてくださる職人の方に私は守られていること

を
実感するのです。

2007・08・16（木）

基礎工事終わらなかったっす・・・

「川沿いの家」の工程表では、
お盆前に基礎工事が終わることになっていましたが、
おおかたの予想通り、順調に遅れています。
(想定外の出来事が多くて・・・)

基礎の配筋を確認に行くと
基礎断熱なのに断熱材がありませんでした！



現場に断熱材が届く前に行ってしまいました。
これでは断熱材の仕様を確認できませんので、
日を改めて現場に行くと、



今度は、全ての断熱材が裏面を向いていて確認不可能な状態！
現場に端材でもあればと探すのですが、
休み前にきれいに片付けてしまったようで全くありません・
・

仕方なく、監督に電話でメーカーと仕様を確認しました。
監督さんは、
「型枠を外せば印刷面が見えます」と言いますが、
それでは遅いのです。
私の仕事はアラサガシ・・・自分でも嫌な電話をしています。

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

明日は監督さんとお客様と私で、定例打ち合わせです。

夕方に集まって、深夜まで侃々諤々と喧々囂々やってきます♪

いや、仕事ですって♪

2007・08・18（土）

コンクリート打設

「川治の家」の現場がようやく軌道に乗りました。

いや長かったです。

お客様が怒り出すのではないかとかなりヒヤヒヤしていましたが

先が見えてきました。工程は順調に2週間ほど遅れています！



土間のコンクリートを打っています。

この日はお客様と一緒に材木屋さんに加工中の木材を見に行きました。

詳しくはお客様のブログをどうぞ！（←いつもの手抜き作戦です）

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

プレカット工場で加工した材木に

構造金物を取り付けるために材木屋さんで再度加工を行います。

断熱性能を確保するための先貼りシートもここで取り付けます。

この工程の無駄は合理化できないのでしょうか？

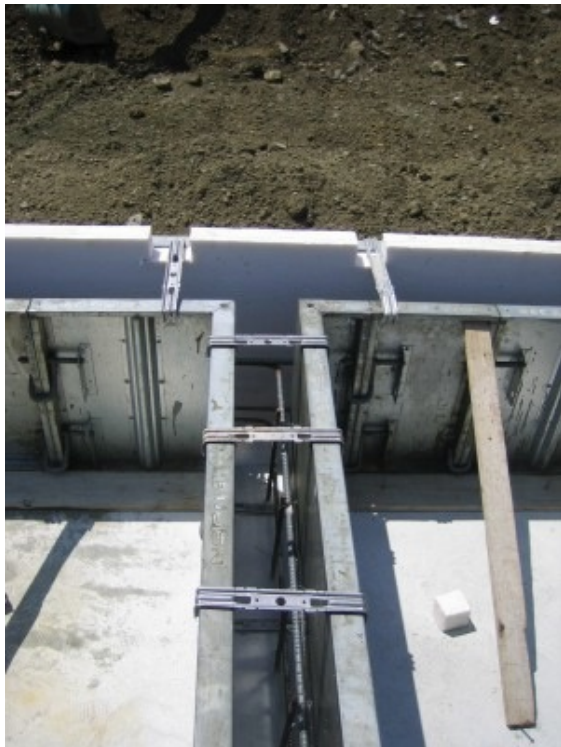
私の設計の難しさを合理化するほうが先だろと言われそう・・・

・

2007・08・20（月）

型枠工事

「川沿いの家」は基礎立ち上がり部分の型枠工事中です。



型枠上面の開き止めが今回のポイントです。

この金物にアンカーボルトを固定しますのでボルトの長さ、位置、傾き等をていねいに施工することができます。

外周部は断熱材を切り欠いて納めています。

いい仕事をしていますね

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

アンカーボルトの精度が期待できますね～～っ！

2007・08・21（火）

セルフレベリング

「川沿いの家」は順調に進んでいます。

基礎立ち上がり部分が完成し、
基礎上面の精度を保つためセルフレベリングモルタルを流しています。



これで木材の土台と基礎が正確に隙間無く固定されます。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：



この基礎屋さんはアンカーボルトの施工がかなり上手です。

2007・08・26（日）

土間配筋

「川沿いの家」のお客様は車好きですので
ビルトインガレージがあります。

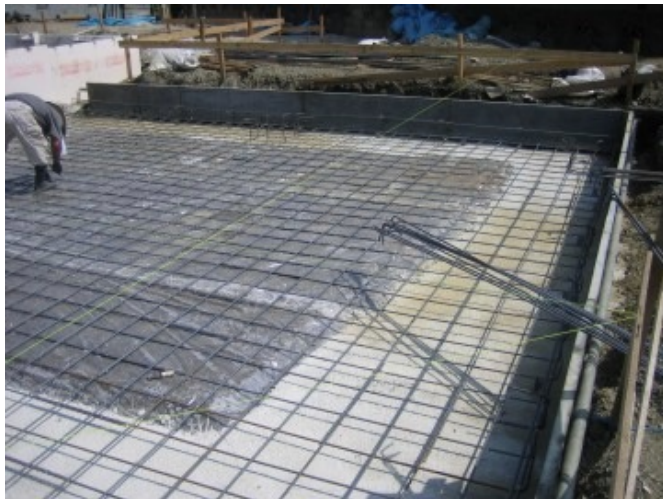
と言いましても、

予算の都合で片側に壁がありませんので
「屋根つき車庫」としか思っていないようです。

屋根、サッシ、外壁の色決めを現場で打ち合わせを行ったので
すが、

決まりませんでした・・・

現場は、不確定要素も無くなり順調で、
ガレージ（？）部分の土間配筋中です。



↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

この後、和風居酒屋の調査のために町へ繰り出す予定がありました。

お客様が色決めて悩み過ぎないようにアドバイスをしようと悪知恵を働かせ「一緒に行きませんか？」なんて言うのですが、

当初の目的を全て忘れて、単なる飲み会になってしまうのでした・・・

埋戻し

「川沿いの家」は基礎工事がようやく完了です。

基礎断熱といいまして、建物の基礎を断熱材でスッポリ被ってしまう工法を採用しているのですが、最大の弱点はシロアリ対策に不安が残るところです。

石油製品の発泡スチロールなんて食べても美味しいわけがないに

奴らはかじります。

そして

行く先にパラダイスが待っていることを確信しているかのよう

に上へ進むのです。

そんなわけで、

基礎断熱の地中部分にアリが噛み付けないバリアを設けます。



これでほとんどのシロアリは諦めてくれるはずですが。

ただし奴らの周りでは

「コンクリートもかじる」とか「一点の隙も見逃さない」など
ほとんど都市伝説のようなノリの噂が囁かれていますので、
絶対安心とは言えないようです。

薬品による予防策もあるのですが、

これだけ引っ掻き回した地面に、奴らが来るのは5年後だとか、

そして5年以上効果が続く薬品は無いのだとか・・・
これも都市伝説！

んまあ～

自然とは上手に付き合っていきましょう♪ (←ゴマカシル)

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

基礎の天端精度が今後の工事でかなり重要になっていきます。
現場ではこんな目線で、建物の周りをウロウロしてきました。



建物基礎を地面近くから覗みつける私も、
かなり怪しい「奴」です。

2007・09・01（土）

外部の設備配管

「川沿いの家」はほぼ基礎工事が完了して
建物外周部の設備工事が行われています。



一部納まりが悪いとかで、
工事が終わっておらず月曜日の午後に打ち合わせとなりました。
なかなか前に進まない現場です。

そして、

埋め戻し後の現場を確認していて発見！



何故ここだけモルタルを塗らずに埋め戻したんですか？

本気で理由を問い詰めたいです。

このままでは、玄関部分がシロアリの玄関になってしまいます。

それでなくても玄関は床下がなく完成後点検しにくいのですから、

十分注意して工事を進めていただきたい部分なのです。

担当者に電話で確認するようお願いしておきました。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

現場が好きですので、近くを通れば必ず顔を出します。
この現場の先に、別の現場が2つあることも問題です。
こう頻繁に現場に通うと、
現場担当者より先に現場の状況を掴んでしまいますので、
担当者の立場がありません。

そして、次の現場へ移動！

2007・09・03（月）

外壁の色

「川沿いの家」は、現場でお客様と打ち合わせをしました。

前日「コンクリートの打継部分に怪しいスキマがある」とお客様から心配メールが届きましたので、緊急現場打ち合わせです。



ゴメンなさい、気がつきませんでした。

確認したところ、
基礎の断熱材のスキマにコンクリートが廻っていませんで
した。

その奥にはスキマがありませんので安心してください。

お客様に補修方法を説明して一件落着！（嫌な汗が出た！）

その後、



外壁の色見本を見ていただきましたが、
満足できるものではないようで、
さらに見本を用意することとして問題先送り～～♪

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

隣地側の側溝が、敷地より低いのでブロックを積みます。



工事はいよいよ、
土台、足場、建て方へと進んでいきます。

2007・09・08（土）

足場完了

「川沿いの家」にようやく足場が架かりました。

土台には台風の養生で巻いたシートがまだ残っています。



建物の大きさは十分検討しているつもりですが、
実際の大きさに建ち上がっていく瞬間は緊張します。



台風の雨が基礎に溜まらなかったのは
基礎の一部に設備用のピットを設けているからです。
雨水はここに流れ込み、基礎に開いた配管スリーブから流れ出
ます。

順調に進みますように・・・

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

私の先輩曰く、

「メンテナンスしやすい設備配管を目指すなら

深く埋めたりせずに、基礎から直接外に出すべきでないのか？」

確かにその方法もありますが、

蹴とばされる部分に設備配管を設けてはいけないと

師匠に叩き込まれましたので、露出配管には抵抗があります。

2007・09・10（月）

建て方開始

「川沿いの家」の現場の近くを通りかかったので
とりあえず写真撮影です。

おかげで次の打ち合わせにちょっと遅刻♪（←こらっ！）





ようやく軌道に乗ったようです。

後は天気次第ですね♪

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

電気の配線スペースが本当にうまくいかないです・・・

一部天井を仕上げることになりました。

でも

建築雑誌を見てたら使ってみたい材料があったのも大きな理由です。

いや、

理由の70%ぐらいは電気配線のためですよ！本当に！

2007・09・11（火）

建て方開始！

「川沿いの家」は基礎工事に手間取ってしまい只今2週間遅れです。

お客様は年内に工事が終了するのか本気で心配していますが、工事さんはマイペースで淡々と仕事をこなしています。



規模が大きいので一日目はここまで！



1階の西側には2台分のビルトインガレージがあり
ガレージ上部にも部屋がありますので
断熱の納まりも事前に検討しておく必要があります。
構造的には不要でも
断熱材をきれいに納めるのは必要な材料なども用意されてあり
ます。

床下暖房が設置できないガレージ上の部屋を
きちんと暖房するのが今回の課題です。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：



この現場の構造金物は材木屋の社長が開発したものです。

「特許や構造の認定など大変だったけど、

木材加工の機械が一般的でないので、

金物だけ売れることが無いんですよ～ははは」 ←専務談

身近に面白い発明家を発見してしまいました！

2007・09・13（木）

いた～～！

「ひたちの家」の帰りに

「駅前の店舗」に書類を置いて事務所に戻ると、

貴重品が入ったバックが無い・・・

「駅前の店舗」の現場に電話したらありました（笑われました）

要領よく現場を回っているはずなのに・・・

結局2往復です。

帰り足「川沿いの家」の現場に寄りました。

真っ暗でしたが、

上棟まで進んでいると聞いていましたのでちょっと確認です。



垂木まで進んでいます。

暗くてよく見えないので帰ろうとすると、

暗闇からお客様登場～～～！

満面の笑みで「進みましたね♪」って、本当に嬉しそうです。

不審者に思われないように注意してください。

↓面白かったらホィ↓

住まいブログ

追記：

お客様は自動車が大好きな方なのですが
家ができたら「趣味はガーデニングになる」と言い切っています。

失礼ですが、

両立は難しいのではないかと考えています。

1階和室から見える庭をどのように仕上げるか悩んでいます。

2007・09・15（土）

垂れ幕

家づくりの勉強会を近所の材木やさんと定期的に続けています。

「いわき」の気候に合った省エネ型の家づくりに地元の工務店さん数社が興味を持っていて、それぞれの会社が工事を始めました。

「川治いの家」もその一つです。

せっかく共通の仕様で家をつくるのならと、材木屋さんの専務夫人が垂れ幕をデザインしてくださりました。



現場には材木屋さんとプレカット屋さんも来ています。皆さん口を揃えて「タイヘンなんですよ！」と言います。

お客様はそれが聞こえると嬉しいと言っていましたが、
私はその矢面に立ちますのでかなりドキドキです。

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

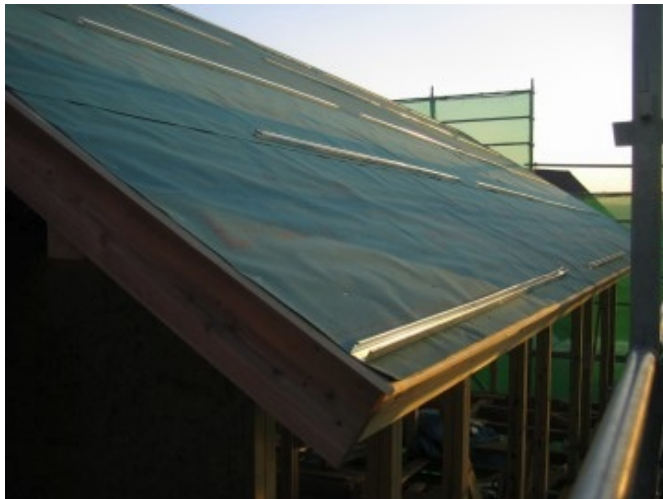
大きな垂木を架けることで厚い断熱材が施工可能となりますが、
妻側の軒の納め方で毎回苦勞しています。



化粧母屋を梁の上に載せたりあれこれ工夫して
断熱厚さを意識させない軒先としています。
こんなところもこだわりますので「タイヘン」なんですよ。

屋根下地

「川沿いの家」は屋根の下地をつくっています。



屋根断熱といって、
屋根面のすぐ下に断熱材を納める工法を採用していますので
天井は三角になります。
断熱材と屋根面の間に空気の流れを計画し
その空気を屋根のてっぺんから吐き出しますので
屋根のてっぺんの納めは「空気を排出し」「雨は入れない」と
いう
気難しい性能を満たすものでなければなりません。



外壁の構造用合板も張り始めますので
釘の仕様を確認します。設計屋の地味な仕事です。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

地元の工務店さんを中心に

「いわきにふさわしい家づくり」の勉強会を続けています。

仲間が市内で同時に快適な家づくりを始めました。

材木屋さんが共通の垂れ幕をデザインしてくださりました。



いわき市内に数ヶ所ありますので探してみてください (笑)

2007・09・21（金）

屋根通気工法

夕方「川沿いの家」の現場に行ってきました。



別の現場に行く道沿いですので、用もないのに寄ってしまいます。



屋根の通気層について昨日書きましたが、
屋根下地のてっぺん部分に隙間を設けます。
台風の時でもここに雨水が入らないようにする納めについて
は
工場の状況に合わせて説明していきます。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

屋根まで進めば現場は天気は左右されなくなります。
もうちょっとです。

2007・09・25（火）

屋根通気部材

「川治の家」に屋根の通気部材が届きましたので紹介します。



天井裏の空気を屋根のてっぺんから排気する

「棟換気」の既製品もありますが、

下屋と2階外壁部分の納まりにまで対応するにはこの部材が便利です。

屋根のてっぺんから吐き出された空気は

小さな格子状の隙間から外に出ますが、

ここを勢い良く雨が駆け上がる心配はありません。

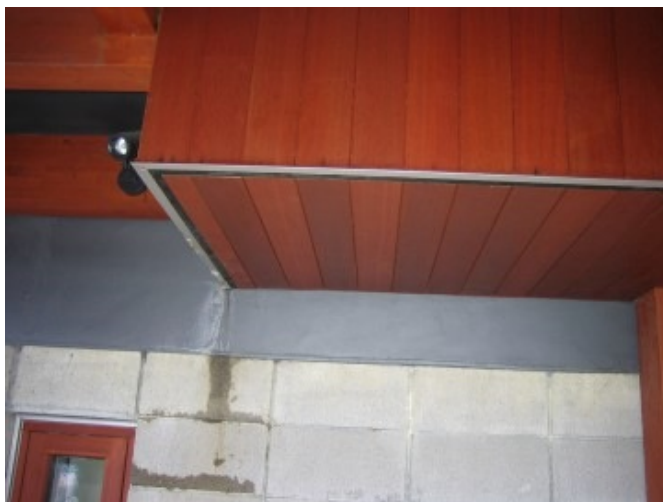
↓面白かったらホィッ↓

住まいブログ

追記：

私の仲間で軒の無い建物をつくる工務店さんがありますが、
そちらでは外壁通気層の最上部にこれを設けて
壁内への雨の進入を防いでいます。（こんど写真を撮影してき
ます）

先日北海道で外壁通気層の下端部に
防虫網として付けられた現場を見てきましたが、
潔い納まりでした。



画像分かるかな？マニアックすぎるよね♪

2007・09・26（水）

構造用合板

「川沿いの家」は構造用合板で構造耐力を満たします。
法的には7.5mm厚さの合板でいいことになっているのですが、
釘のめり込み心配して9.0mmの合板を使うように設計しています。

しかし、
今回は工事屋さんからの提案で「ケナボード」を採用しました。
厚さ4.0mmですがなかなか高性能です。詳しくはこちら

そして物はこれ↓



そんでって、現場はこんなふうになります↓



足場があって分かりにくいかもしれませんが
窓の周りにも張りますので、
筋違い計算に含まれない窓上下の壁も地震時には頑張ってくれ
ます。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

現場では釘のめり込みを細かくチェックします。

大工さんが嫌な顔をしますが、それも仕事です。

2007・09・30（日）

基礎断熱

「川沿いの家」の現場に行ってきました。



設計に無い基礎の内側断熱をしていますので
慌てて担当者に電話したところ
既存杭の位置がずれていたため、それに建物が乗るよう
底盤を変形させたことを指摘されました。

そう、

私が基礎外断熱の欠損部分は
内側の断熱で補うよう指示を出していたのです。
すっかり忘れていました。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

川治いの家は

10月5日に上棟式を行うこととなりました。

その後、いわきのブロガーでミニオフ会を開催予定です。

なぜ「オフ会」かと言いますと、

「川治いの家」のお客様は、ブログで知り合っ

てオフ会で設計の相談を持ちかけられたのが始まりだったの
です。

どこに仕事の種が落ちてるか分かりませんね（笑）

2007・10・02（火）

床材確認

「川沿いの家」のお客様と材木屋さんに行ってきました。

目的は床材の確認です。



スギの床材ですが、片方は表面を圧縮加工してあり傷がつきにくくなっています。

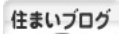
当然、加工手間の分だけ価格は高いですので設計では表面加工無しのほうを選んでありました。

さて、お客様の感想は

「加工無しのほうが気持ちいい～♪」

というわけで、設計変更ナシです。

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

材木屋さんは正木屋さんです。

実録！材木屋日記 in いわき

材木屋4代目のガンブラ日記

ご夫婦でブログを書いています。

ちなみに、お客様のブログがこちら

riverside garage Little Bastard

みなさん、マメに更新しています。見習わないとね♪

2007・10・04（木）

床下暖房設置！

「川沿いの家」は床下暖房のパネルが設置されました。

ちょっとウンチクです。

断熱をしっかり機能させるためには、
建物の気密性能が重要になります。

しっかり気密すると計画換気ができます。

断熱で建物の熱が逃げにくいですが、

換気で熱が逃げてしまいますので、

ちょうどいい暖房が必要になります。

つまり、

断熱と換気と暖房はお互い関係していて、

どれかがかけていても快適な家にはなりません（キッパリ！）

そんなわけで、私が設計する家には必ず暖房が付いています。

それも、かなり小さな暖房です。

暖房機は邪魔ですので床下に置きます。

床下に置くなら角が尖っていても危なくありませんし、

きれいな外観である必要もありません。



床下には真っ黒のラジエーターが設置されます。
ここに温水を流して暖房するのですが、
温水配管は保温しません。ここから逃げる熱も暖房になります
ので♪



建物の間取りにあわせて、ラジエターの配置をていねいに計画します。

これが楽しい！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

現場はサッシの取り付けが始まりました。



2007・10・05（金）

上棟式

「川治の家」で上棟式を行いました。

最近はほとんどしないですよ・・・

大工さんにご祝儀を渡す程度で済ますことがほとんどなんです
・・・

こう言って「土間のある家」のお客様は略式で済ませたのに・
・・・

「日立の家」も「川治の家」も上棟式をしてしまいました・
・・・

参りました（涙）



勿論「投げ餅」や「投げ銭」はしませんでしたよ（大汗）

それからもう一つ、

お客様の強い要望！



丸窓追加！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

上棟式の最中

こんなことや



こんなことが



ありましたが、
滞りなく終了しました。

2007・10・10（水）

断熱アルミサッシ！

「川沿いの家」の現場です。

いよいよ工事は順調に進んでいますが、

工期内で完成するかは依然予断を許さない状況です（ウッ!）

といいましても、

窓が付くと違って見えますね。



南側の窓はあえて断熱性能を落としています。

私が住む「いわき市」は冬場の日照時間が自慢の町ですのでこのエネルギーを無駄にしない家づくりを検討しています。

例えば、

北側の窓には断熱性能が良いガラスを使いますが

南側にはただのペアガラスしか使いません！
(ペアガラスは太陽の熱が建物に入りやすい断熱ガラスです)
おまけに少しでもガラス面が大きくなるように
外付けサッシを選んであります。

太陽の熱を「資源」と考えて下さい。
これはどんなに使っても無くなりませんよ！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

内部では電気屋さんが床下に配線工事をしています。



基礎断熱ですと床下の設備工事が容易になります。

同じ断熱性能を床面に設けようとする
断熱材の貫通部の処理方法だけで混乱してきます。
特にユニットバス部分は床断熱を連続させる方法がありません
・・・
(だから断熱浴槽が売れるのよ！)

2007・10・16（火）

外壁通気工法

「川沿いの家」は断熱工事に向けて

大工さん・電気屋さん・水道屋さんなどがオオワラワです。

こんなとき、現場で何もしない私はかなりの邪魔者です。

ええ、しっかりしっかり自覚していますので、

職人さんに道を譲りまくりです（笑）

パラマウント系列の断熱工事屋さんに施工をお願いしていますので

断熱工事ができるところまで現場を進めておかなければなりません。

断熱材で隠れてしまう配線・配管や、

換気扇・給気口・エアコン配管用のスリーブも設置します。

建物の中はカマキリの卵を机の引き出しで孵化させたときみたい♪

（↑相変わらず例えが悪いです）

なので、

外の写真



透湿防水シートの上に止めてある棒が「通気胴縁」です。
断熱材の室内側に防湿フィルムを貼るのですが、
水蒸気分子はかなり小さいですので断熱材側に入ってきます。

そのままにしておくと断熱材部分で結露して、
建物の寿命を縮めてしまう恐れがありますので、
外壁側に空気の流れをつくり水蒸気を外に逃がします。

今回は、外壁の通気層と屋根の通気層を連続させましたので、
屋根面が太陽で熱せられる昼間は、
北側の壁の通気量も確保できる作戦です。
北海道の研究所（旧寒研）で実測された理論的な工法なんですよ！

注意が必要なのは、

屋根の通気層がダンボール製の「通気くん」の場合には、
下屋の屋根から壁へ通気を連続させてはいけないことです。
もしも外壁通気層に雨が進入すると、
屋根の断熱材が水浸しになりますから（←マニアックすぎ！）

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

現場に居場所が無かったので
一人夕日を眺めていました。



みんな忙しく仕事してるのに、一人だけ暇そうです。

2007・10・17（水）

ダイライト

「川沿いの家」の現場です。

この現場は建物の外側を構造用合板で固めますので
建物に筋違いは設けません。

そうすることで、断熱材が壁の中にめいっぱい充填されますし、

窓の上下にある小さな壁も地震のときに頑張ってくれますので
筋違いだけの建物より、がっちり固まります。

今回の家は、1階に2台分のガレージがあるので
外壁だけでは壁量、壁配置のバランスともに少々問題があり、
間仕切壁にも耐力壁を設ける設計となっています。

設計では構造用合板だったのですが、
現場にはダイライトが貼られています。



石膏ボード部分との段差を嫌ったそうです。
なるほど、その手があった！

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

室内側に電気配線用スペースを設計しているのに
壁の中に思いっきり配線してあります（汗）



もちろん、外に出していただきました。アッナイ!アッナイ!
断熱材をしっかり詰め込む目標を達成することは
意外に険しい道のりなのです♪

2007・10・20（土）

断熱工事部隊登場

「川治の家」に断熱工事業者が来ました。

6人で2日で仕上げるそうです。早すぎます！



すごい勢いで断熱材が埋まっていきます。

電気工事屋さんがスリーブを付けていますが

完全に無視されています。

間に合わなかった部分はこのテープ処理は電気工事となります

(75)

その中で、またまた発見！

この前電気工事で壁の中に配管を入れないようにお願いしたの
に

今度は水道屋さん！





急いで壁の外に出していただきました。
気が休まりません！

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

帰りがけに大工の棟梁に

「断熱工事屋さんの仕事を見てた？」と聞くと

「もちろんですよ！」の返事、

「今度は自分でできますよ！」ですって！頼もしいです。

次の仕事を用意しないとイケませんね。

どなたか、新築をお考えの方いらっしゃいませんか？

良い大工さんを紹介しますよ（笑）

2007・10・21（日）

断熱工事ほぼ完了

「川沿いの家」の断熱工事がほぼ完了しました。



今回はガレージ上部分に床で断熱する部分があります。2階の床に断熱材をきれいに敷き込むことができるか心配だったのですが、さすが専門工事屋さんです。



壁の断熱工事も驚くほどきれいで丁寧です。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

通常2階部分には暖房を設けなで全室暖房を設計するのですが
今回は2階部分が1階より大きいのですので

そこまで暖房できる自信がありませんでした。
ちょっと臆病風に吹かれモードですが
ガレージ上の部屋には温水暖房のパネルを2台設置しました。
寝室ですので、ベットの頭側の部分に棚を設け
その中に床下放熱器を2台並べ、正面にガラリを設置します。

暖房用のガラリが壁の両端に2ヶ所ある図面を見て
ガンダム好きのお客様がニヤリとしたのを見逃しませんでした
よ！
よし、ガラリは黄色に塗装しよう（笑）

土間との段差を考える

「川沿いの家」には土間があります。

リビングから土間へは20cmの段差を設けました。

冬の日射を土間に受けることで

「パッシブソーラーハウス」になる作戦です。

冬の寒さは主にサッシから進入しますので、

南面の大きな窓は最も大きな暖房負荷となるのですが、

20cmの段差があると、

窓面で冷された冷たい空気はリビングへ上がることができません。

冬季に足元を動く不快な気流を抑える効果があります。

おまけに、

この段差部分に床下暖房のガラリを設けますので

床ガラリの設置が不要となります。



かなり大きな開口ですので、
元受の現場担当者は床下が見えてしまうことを心配していますが
「見られて困るものは床下ありません！」で解決！

ここに暖色系のタイルを貼り、太陽熱の蓄熱体は完成します。
輻射熱を感じる蓄熱体（土間）は、
日没後に「小さな太陽」のような効果を発揮してくれる予定です。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

その他の工事も順調に進んでいます。



2007・11・02（金）

かくれちゃった！

「川沿いの家」の大工さんは
ようやく面倒な断熱工事中から開放されて
本来の大工仕事をバリバリこなして下さっています。

私は芸術的な仕上がりの断熱材が隠れてしまって
少し寂しかったりします。



んまあ～

将来 この家を改修するとき天井を剥がして職人さんが
「ほう♪」と思ってくれることを期待しましょう。

職人の仕事は時間を越えますからね（笑）

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：



3連の窓が付いていますが、
マニアックな外付けサッシとしてあります。
窓の額縁が付きませんので、
サッシとサッシの間は柱しかありません。
日射取得量が半外付けサッシより多くなります。
でもこれは技術屋的な説明で、

本当はすっきりしていてカッコいいからです。

2007・11・08（木）

素人塗装団

「川沿いの家」は当初天井を貼らず
2階の床材の裏面を見せてしまう「踏み天井」という工法でし
たが
電気配線の場所が見当たらず結局天井を貼ることにしました。

しかし、
そんな理由で追加工事費をお客様に請求できませんので
あれこれ悩みます・・・

すると、
材木屋さんの2階に古いヨシベニヤが20枚程度あり
すこし焼けて（変色して）しまっているものなので
材料は無料で手に入りました♪

その後、
塗装の色を決め、いよいよ塗装大会です！
材木屋の若奥様に手伝っていただき、
想像以上に早く終わりました。



なぜなら、塗料の量を間違えて、半分しか塗れませんでした・
・・・

来週再度「塗装大会を開催します♪」

↓面白かったらポチっ↓

[住まいブログ](#)

追記：

デジカメを忘れ、携帯のカメラで撮影しました・・・

そして失敗しました・・・

画像は一緒に作業した

「お施主様」又は「正木屋の若奥様」のブログで確認願います。

手抜きです！！

2007・11・09（金）

ていねい過ぎる？

「川沿いの家」の現場に行きました。

断熱材の内側に電気配線スペースを設けることで

電気工事と断熱工事の混乱が避けられ

作業の省力化・合理化を期待したのですが・・・

壁下地の作業が非常にていねいで困っています・・・



大工さんなど「職人」と呼ばれている人の仕事は
経済合理主義とは別のところを目指しています。

例えば、

この家が数十年後に解体されるとき
別の職人が「あの時代にここまでする職人がいたんだ～」と感
心する

そのとき空の上からニヤッとできたら嬉しい。

んまあ～

独特の時間軸の上で仕事をしていますね。

そんな仕事をしている大工さんに

「もっと手を抜いてください」なんて言えませんよ！！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

私も設計職人を目指していますので

経年変化を意識したり、リサイクル可能な納まりを検討したり
と

浮世離れの時間軸を意識してはいます。

がっしかし、

目先の経済性を棄てきれないでもいます（笑）

2007・11・10（土）

さらば踏み天井！

「川沿いの家」の天井材が決まり大きな追加工事とならずに天井を仕上げることができそうです。

詳しくはこちらを参照のこと、

お施主様のブログ

材木屋さんのブログ

そんなわけで、

当初現しとなる予定であった2階床材の裏面に対し小さく謝罪し、

これから張られるであろう天井材をイメージするのでした♪



あらためて見て、隠すのが申し訳ないほどの天井材ですが、

これは2階の床材なんです。

電気の配線をきちんと計画していなかった自分を恨みます・・

・

↓面白かったらポチっ↓

住まいブログ

追記：

外部には三連窓があります。



外付けサッシを使いましたので

サッシとサッシの間が狭く一体型の窓にも見えますよね？

ええ、

室内側の納まりでは大工さんをかなり困らせましたよ♪

2007・11・12（月）

名前が変わりました（事後承諾？）

「いわき家ナビ」で「川沿いの家」を紹介していただくのですが、

建物の名前が変わっています（強制的？）

その名も『ガレージのある2世帯の家』です。

いろいろ考えてくださっているようですので問題ありません！

さて、

現場は内装の下地工事が始まりました。





上質の石膏ボードだそうですが、
強烈なウスマラサキ・・・
オガファーザーが透けないといいいのですが・・・心配です♪

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

川沿の家改築物語

ガンダムのコミック15巻まで読破しました。
まだ続くのね・・・

2007・11・14（水）

素人塗装団任務完了

今まで塗装なんて全くやったことが無いのに

「天井材には自分で塗装しましょう♪」

なんて言って始まった素人工事が、ようやく完了しました。

とにかく、全てが勉強です！

「① 塗料は良く混ぜろ」



前回これを怠り、缶の底に顔料がたっぷり残ってしまいました

・・・

今回はきちんと反省してしっかり混ぜました。

前回の残り（ドロドロした物？）まで混ぜちゃいましたよ！

「② 数量を確認しよう」

塗料の注文量は難しいです。

メーカーの案内に沿って注文したのですが、
ヨシベニヤは予想以上に凸凹していて、塗料は倍必要でした。

「③ 汚れてもいい服装で」

当たり前なのですが、ジーンズが染みだらけです・・・

「④ きちんと後片付け」

これも当然です。

自然系塗料の中には、
布に染み込ませて放置すると自然発火するものがあります。
水に浸してきちんと処分しましょう。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

楽しい塗装大会でしたが、

極めつけは、作業終了後の食事♪

お客様にお寿司をご馳走になってしまいましたよ～～

うまかったです♪

2007・11・20（火）

外部塗装工事

「川沿いの家」の外部塗装が始まりました。



赤みがかった茶色です。

これが終われば足場が外れます。



吹き抜けの足場が外れました。

ようやく吹き抜けの雰囲気を見ることができました。

お客様も大興奮です。



リビングのヨシベニヤ（ガマベニヤ）です。
先日塗装したヨシベニヤは今度お見せします。

↓面白かったらホチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

吹き抜けの周囲は納まりが立体的ですので

私の現場が初めての大工さんは頭が三角になっています。
もう一息です♪

2007・11・21（水）

だらだらとひとつながりの家

これも「省エネ住宅フェア」の原稿です。

「川沿いの家」は北と西が道路に面した住宅地に建っています。南と東には隣の家がすぐ近くまで迫っていますが、この2軒の隙間ともいえる南東の角からの眺めは偶然にもそれぞれの家の庭が重なり合いさらに遠くまで視線が抜けています。（無駄にはしませんよ）

それでも開放的な建物とすることはちょっと困難で騒音やプライバシーを意識するほど「自閉的な家」になりがちです。

『外に向かって開放感を確保するのが難しければ

内側を開放的にしてしまえっ！』

と、強引な作戦で設計を始めました。

半屋外的な使い方をするテラスを窓で覆い「土間」とすると外のように使える屋内空間となります。

窓をあけると「ほぼ外部」、カーテンを閉じれば「ほぼ内部」です。

この曖昧さが重要です。

建物1階に設けた2台分のガレージは閉じた屋外ですので、「ほぼ外部」ですが、車を出すと「少しだけ内部」に近づきます。

(ややこしい表現ですね)

これら曖昧な空間で建物を包むと

「内」から「外」へのグラデーションができあがります。

これは「プライベート」と「パブリック」の濃淡ともいえます。

その時々で内と外の濃度を調整して過ごす家となります。

リビングを囲む3つの個室の間に小さな中間領域を設けましたので

「外」から「内」へのグラデーションはさらに細分化されています。

断熱性能を確保すると大きな空間を計画できるようになりますが、

ついうっかりすると「ただ大きい部屋」になってしまいます。

私の理想は「ダラダラとひとつながりの家」ですので、

それぞれ「ちょうどいい場所」がつながっていなければなりません。

この見えない「つながり」は建物の外まで続いていて

お隣の庭も大切な景観となります。



↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

無理して書くと長くなるんだよね・・・

2007・11・24（土）

どこでも仕事ができます♪

「ひたちの家」の帰りに

「駅前の店舗」に顔を出し

「川沿いの家」で内部の色の打ち合わせとなりました。

かなりパニック状態ですが

お客様は人生で最大の買い物ですから気を抜けません！

「吹抜けに面した机は折りたためるんですよね？」

あっ・・・だいぶ前にそんなこと言われた・・・

「仏壇の高さはどうなりますか？」

やばい・・・考えてない・・・

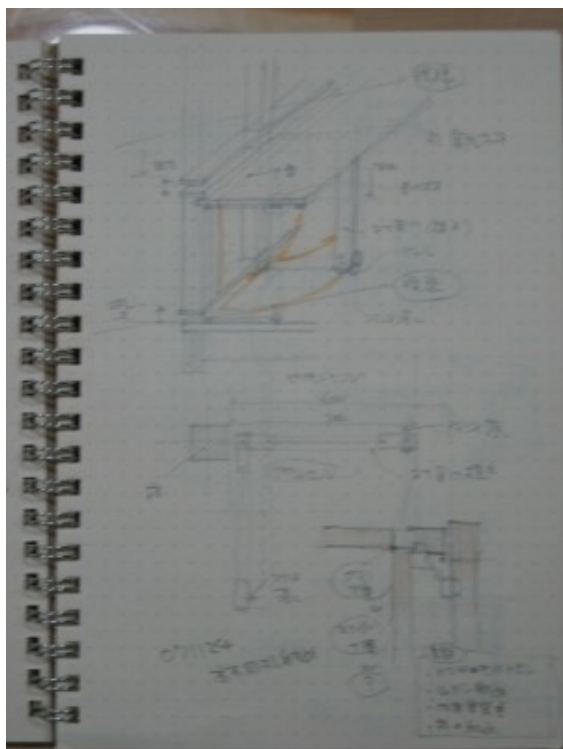
あの～～

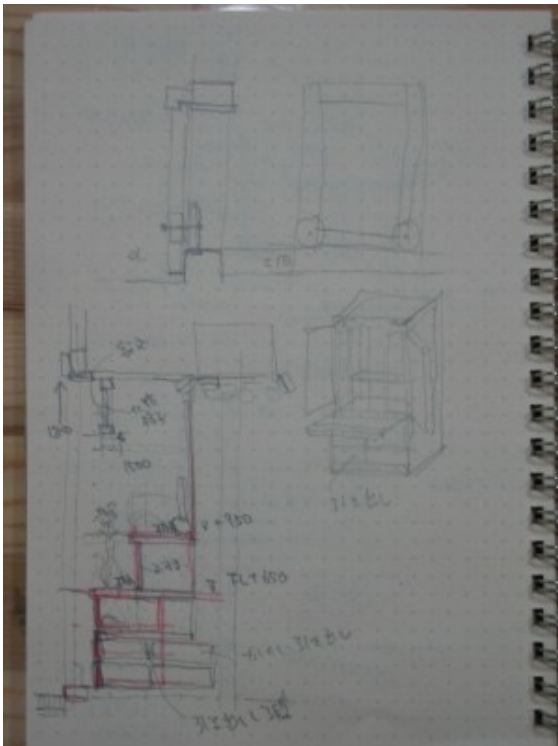
「夕ご飯食べに行きませんか？」

「できればテーブルがベタベタしていない店に・・・」

店に入ったらすぐにスケッチブックを広げて

設計の打ち合わせです。







何食べたか覚えていませんが
無事に打ち合わせ終了です。
どこででも仕事ができるんですよ（笑）

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

度々の失態を笑って許して下さるお客様に感謝！
毎回綱渡り状態ですが仕事の質は確保されていますよ（たぶん）

2007・12・01（土）

内装色の検討中

「川沿いの家」のお客様と内装の色について
イメージを共有してきました。

この「共有」作業はかなり重要なさぎょうです。
もちろん私のイメージが正確に伝わっているなんて思っていま
せんし

お客様のイメージを十分把握できたとも思いません。
それでも、

お互い相手が何を考えているかを感じることで
着陸地点が見えてきます。

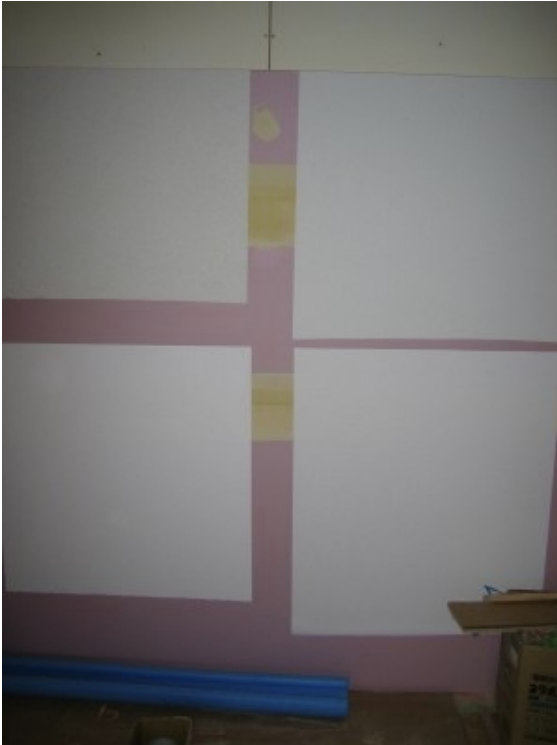


木に濃い色を付けたいお客様と、
色の切り替えがうまくいかず悩む設計屋で
今回の打ち合わせは何も解決しないまま次回へ持ち越し♪

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：



壁紙を貼って下地が透けないか確認したところ
透けてます・・・危なかったです・・・
これは左上で決まり。

2007・12・06（木）

ようやく足場が取れました（汗）

ボクが設計した建物が4つ同時進行で進んでいます。

「川沿いの家」が一番最初に地鎮祭をしたのですが

足場が一番最後まで残ってしまいました・・・

ここからの工程管理はちょっとシビアになっていきますよ！



広角レンズはカメラを少し傾げるだけで大きく歪みますので
建物の全景はカメラを傾げないようにしました。

ちょっとはマシになったね。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

まだ内装の木の色が決まっていませんので、

8年前に私が設計した家を見に行きました。
着色しなかったのですが、日に焼けてきれいに変色していました。

お客様は、8年でかなり焼けることを知り
内装は着色しないことで納得してくださりました。

古いお客様は大切にしないとね♪

2 階手摺

「川沿いの家」には吹抜けがあります。

おまけに吹抜けを一周できる廊下もありますので
手摺は4面全てに付けられる事になります。



写真左側は手摺の向こう側に机が付きます。

写真右側は本棚です。

写ってませんが、南側は光を通すように格子になっています。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

あまり寝ていないお客様を呼び出し

水周りの内装材などの色を打ち合わせしました。

予想通りお客様にはいつもの集中力がありません。

おかげでボク好みの内装です（ゴメンナサイ）

2007・12・09（日）

呼び出し！

「川沿いの家」の監督から呼び出しで現場に行ってきました。

先日、内装仕上げ材をお客様と決めたのですが、

1ヶ所決まっていませんでした・・・

サンプルを現場に置いたままでしたので

泣く泣く現場へ向かいました！（自虐ネタです）

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：



ポケットカメラでの撮影でしたが、

あれれ？きちんと写るじゃん！
広角のレンズは取り扱い注意です。

2007・12・11（火）

内部足場再び！

「川沿いの家」の吹抜け部分に内装工事用足場が架かりました

♪

(※ 語尾に音符を付けても文章の重さは変わりません)

吹抜けは2階の床を作った場合と同程度の費用がかかりますね

・・・

生活の中心をどうしてもつくりたかったので許してください・

・・・

(誰に謝っているの?)



吹抜けに面した手摺には本棚が付きます。



南側の手摺は光がたくさん入るようなデザインです。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

今度の週末は「土間のある家」の内覧会です。

年末の忙しい時期ではありますが、

全室暖房の心地好さを御体感下さい。



↑クリックで大きくなります。

2007・12・14（金）

こちらも急ピッチです。

「川沿いの家」のアンテナ設置位置の確認で現場に行ってきました。

この前行ったときに確認してくれば、
先輩にお昼奢ってもらえたのに・・・
断っちゃったよ!!! (←チイヨ!)

さて、

現場ですが、内部の足場が取れていました。



内装の仕上げもできてきました。



キャットウォークの塗装中です。

大工さんの作業も外部のベランダを残すばかりです。



年内引越しが見えてきました。

その前に素人塗装団による「床塗装大会」です。
今年の年末は変な忙しさです（笑）

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

15～16日は「土間のある家」の内覧会です。
年末の忙しい時期ではありますが、
全室暖房の心地好さを御体感下さい。



↑クリックで大きくなります。

2007・12・22（土）

素人塗装大会準備中

「川沿いの家」に行くとお客様が独り黙々と塗装作業中～～っ
！



「素人塗装大会のときに通路になる部分だけ先に塗っておきます」

ですって！

そんなこと考えもしませんでした（←いつも行き当たりばったり）

今回の塗料はリポスの「カルデット」です。

池田コーポレーションさんに送っていただきましたが
毎回お世話になります。

ちゃんと「グラノス」（←天然ワックス）もセールスしますよ

♪

もちろんマージン無しでね♪

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

建物はようやく全体像が見えてきました。



本当に年内完成となるのか？

まだ不安です♪

2007・12・23（日）

素人塗装工事♪

「川治いの家」は予算の都合で床塗装を設計に入れませんでした。

その代償（？）がこの年の瀬にやってきたのです・・・

そりゃ3連休の中日に計画立てるほうも問題ですが、
工事屋さんの社長や知り合いに9時集合の合図を送ったのに、
10時まで誰も来ないなんて・・・
完全に人選ミスです・・・

夜勤明けの建て主さんとその甥っ子（1年生）と3人で
作業を始める「漠然とした不安感・・・」わかりますか？

眠そうな建て主さんを笑わそうにも反応が薄いし・・・
1年生に集中したきれいな仕事を期待するのは・・・
床に「う〇こ」や「ミッ〇ー」「アンパンマン」を描いたりして
塗装に興味を持たせるので精一杯です。
（イタズラ描きがキレイに消えるから楽しいのよ～♪）

そんなわけで
カメラもって行ったのに1枚も撮影していません（涙）

そうそう、
工事が終わったばかりの暖房を勝手に「試運転」してみたら

心配だった2階が予想以上の暖まりっぷりでほっと一息！

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

日曜日なのに建具屋さんと塗装屋さんが現場で作業をしていました。

ご苦労様です。

でもさ、

2階で素人があれこれ悩みながら色塗り仕事をしているのに自分の仕事が終わったとたんさっさと帰宅しないでよ塗装屋さん♪

せめて、塗装のコツぐらい教えて欲しかったなあ～

2008・01・08（火）

写真部？

「川沿いの家」は年末の引渡し直前に
夜景の撮影会が開催されました。

三脚が並びますので「写真部」ですよ～～！



左に写真部の部長が写っていますね



フラッシュを使わずに撮影しますので
外が明るすぎても暗すぎてもきれいに撮影できません・・・
ちょっと暗かったです・・・相変わらず傾いてるし・・・



リビングから玄関を見たところ

蛍光灯の色がハチャメチャなのは後日直します（笑）



2階の吹抜けは回廊になっています。



お気に入りの一枚！！

(年末の撮影だったのですが、ようやく更新できました)

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

リビングに「巨大座卓」を置くことをお客様に強要していますが、
なかなかいい返事がいただけません（笑）

2008・02・12（火）

ガレージのある家

「川沿いの家」は外構工事が始まります。
その前に・・・まだ残工事がありました・・・
「ガレージのドア」です。



扉製作中です。とにかくデカイ！



引き戸のレールを固定して、
床にコンクリートを打ちました。

養生中にまさかの雨で、補修跡が・・・（涙）

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

外構工事では夏場の日照調整用に「ぶどう棚」をつくる予定です。

夏の日差しが土間に差し込むとちょっと問題ですからね♪

2008・02・16（土）

扉

「川沿いの家」には2台分のビルトインガレージがあります。ガレージ上の部屋は、床・壁・天井が外気に接していますので2階なのに暖房設備が設置されています。

(通常は1階床下にのみ温水パネルを設置して全室暖房です)

年末に引き渡したのですが、

床下の蓄熱が進むまではガレージ上の部屋が

最も暖かったそうです。

確かに熱容量が少ないですので、暖房の熱が直接空気に伝わります。

おまけに2階ですので日当たりも良く、想像以上の暖かさ♪

ここは暖房無しでも良かったのか？新しい悩みです（笑）

話が逸れましたが、

ガレージの扉が設置されました。



ちょっと失敗したのは「塗装」です。

コストを調整するために塗装は「素人塗装団」が行う計画ですが
組み立てる前に塗ればよかった・・・

車好きなお客様から

「板の隙間を透明アクリルで塞いでください」
と言われたときに現場に指示するべきでした・・・猛省
塗装を手伝いますので許してくださいませ！

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

建築士会のコンテストに応募する写真も撮影してきました。



二次審査に残ると審査員が見に来ます。
そのときはよろしくお願いします（←事後承諾）

2008・02・26（火）

温度測定

「川沿いの家」の温度測定を行いました。

年末に引き渡しましたので1月中は室温が安定しません。

そんなわけで、測定は2月になってしまいました。

（日立の家は3月になってしまいます・・・ゴメンナサイ）

床下・1階・2階に温度計を設置し、

1時間毎の温度を測定しました。

その結果です。

0202-0216温度.pdf

↑クリック↑

このままでは何も分かりませんので、

特徴がありそうな部分を抽出します。

0211-0215温度.pdf

↑クリック↑

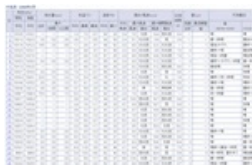
2月12日は外が暖かいのに室温が上がっていませんが

2月13日はかなり冷え込んでいるのに室温は高めです・・・

何故？

困ったときは、気象庁様に問い合わせです。

この日のアメダスデータを見てみましょう。

A screenshot of a weather data table, likely from a Japanese weather service. The table has multiple columns with headers in Japanese, including 'アメダス' (Ametasu) and 'アメダスデータ' (Ametasu Data). The data rows show various meteorological measurements such as temperature, humidity, and wind speed over a period of time.

(↑許可無く貼り付けていますので小さめ、クリック禁止)

なるほど、

日照時間か！

1 2 日の日照時間は「ゼロ」なのに対して、

1 3 日は「9.6時間」もあります。

日照時間との関係.pdf

↑クリック↑

私の設計は、暖房機の小ささが自慢です

ちょっと難しいですね・・・

・・・

・・・

とにかく小さいほうが快適なんですって！

おまけに、いわきの日照時間をできるだけたくさん活用する
パッシブソーラーハウスになっています。

そんなわけで、太陽が出ない日はちょっと物足りないです。

もちろん、そんなときのための安全対策もされています。

温水パネルの送水温度をかなり低めで暖房していますので

太陽が出ない日はちょっとだけ高く設定すれば
ちゃんと温まります。

太陽光センサーなどで自動制御にすることもできるでしょう
が、

ここはローテクで行うのがエコロジーでしょう（笑）

送水温度を高くすると戻さないお客様がほとんどですので、
この操作は今回のような測定値と一緒に説明するようにしてい
ます。

（意地悪ですかね？）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

今回は2月の室温でしたが、

以前別の家で夏の温度測定をしたことがあります。

太陽熱を取り入れた家（断熱＋暖房付き）の2月の室温は、

5月の室温（暖房は止まっています）とよく似ています。

簡単に書くと1.6～2.3℃の温度変化で、平均室温が1.9～2
2℃

ちょっと肌寒ければ1枚着れば済みます。

「川沿いの家」の室内環境は、半年間5月の清清しさなんで
すよ♪

こんど、その話を書きますね。お楽しみに♪

2008・12・15（月）

測定開始

昨年末に竣工しました「川沿いの家」に
先日購入しました測定器具を設置してきました。



室内の温度湿度を記録する温度計



外気温を記録する防水型温度計



暖房用エネルギー（灯油）消費量を記録するための
メーターと記憶装置（防水型ではないのでビニールに入っています）

仕事の都合で設置が夜になってしまいました。
おかげで分かりにくい写真ですね。やっつけ仕事です。（反省中）

1月中旬までの約1ヶ月間測定し、データを回収する予定です。

30分毎の温度、湿度、外気温、エネルギー消費量を
グラフにすると様々な発見があります。

どうすれば暖房の無駄を無くせるかとか、
外気温と室温の関係、
気象データと比較すれば天気と消費量の関係なども分かります。

次の設計に生かすことが目的ですが、
お客様に、より快適で省エネになる暖房の設定を
アドバイスすることもできます。

消費量計の操作が不慣れですので、
近日中に途中経過を確認に行かないと不安で不安で・・・
（笑）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

久しぶりに「川沿いの家」にお邪魔してきました。

過去に設計した建物を尋ねるいい口実なんですよ！

当然、同世代のお客様とプチ忘年会へとなだれ込むのです。

(それが本当の目的だったりします)

2009・01・14（水）

データ回収してきました。

「川沿いの家」に設置した温度計と灯油消費量計を回収してきました。

暖房時間と灯油消費量の関係がよく分かります。
今回は新たに防水型の温度計を購入して測定しましたので、敷地の外気温もバッチリ確認できます。

川沿いの家灯油消費量.pdf

1ヶ月間の平均室温は18.5℃です。
朝4時間暖房すると夕方まで20℃を保ちますので、
夕方からもう一度暖房すればもっと温かく過ごせますが、
あえて省エネモードの運転です。
24時間前室暖房の家ですが、暖房時間は1日4時間！
灯油消費量は1ヶ月で110ℓです。

暖房のシミュレーションでは450ℓの消費量でしたから、
この値は確実にクリアできるでしょう。

川沿いの家灯油消費量2.pdf

下に見える赤い棒グラフが1時間毎の灯油消費量です。
暖房時間以外の消費量が気になります。
オレンジのグラフは1日毎の消費量です。

毎日3～4ℓで暖房できています。

もちろん補助暖房として

コタツとハロゲンヒーターが時々活躍するとのこと。

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

暖房時間以外の灯油消費量を減らす方法をメーカーさんと検討
します。

川沿の家改築物語

著 者：豊田設計事務所 豊田善幸

発行日：2009年04月14日

発行所：Obunest

©2006 EAST Co., Ltd./Obun Printing Company, Inc.

運 営：イースト株式会社

<http://www.est.co.jp/>

PDF変換：欧文印刷株式会社

印刷・製本：欧文印刷株式会社

<http://www.obun.jp/>

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが下記のアドレスにご連絡ください。

mybooks_info@est.co.jp

200904140145-004-DFEBDB



200904140145-004-DFEBDB

背表紙は左のようになります。

半角英数字を使用している場合は半角英数字だけ90度回転した状態になります。
なお製本サービスをご利用の場合、総ページ数が一定のページ数（モノクロは121ページ、カラーは141ページ）に達しない場合は背表紙に文字は入りません。
ご承知おきください。



川沿の家改築物語

豊田設計事務所 豊田善幸



英数字が90度回転しないようにするには....

お申し込み画面の「書籍のタイトル」と「著者名」を入力するときに全角文字で入力してください。

<英数字を半角で入力した場合>

子育て日記 VOL. 2

▼
子育て日記 VOL. 2

<英数字を全角で入力した場合>

子育て日記 VOL. 2

▼
子育て日記 VOL. 2